

Mizuho Daily Market Report

2024/12/3

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	150.22	149.60	▲0.17	▲4.63
EUR	1.0504	1.0498	▲0.0079	+0.0003
AUD	0.6497	0.6475	▲0.0037	▲0.0029
SGD	1.3453	1.3449	+0.0054	▲0.0010
CNY	7.2686	7.2743	+0.0276	+0.0281
MYR	4.4639	4.4595	+0.0120	+0.0080
THB	34.47	34.49	+0.19	▲0.15
IDR	15906	15900	+55	+30
PHP	58.69	58.67	+0.03	▲0.32
INR	84.70	84.70	+0.21	+0.42
VND	25388	25372	+26	▲44

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.190%	+2.1 bp	▲8.3 bp
日本(10年)	1.080%	+3.2 bp	+0.3 bp
ユーロ圏(10年)	2.034%	▲5.4 bp	▲17.6 bp
オーストラリア(5年)	3.988%	+1.2 bp	▲12.9 bp
シンガポール(5年)	2.706%	▲1.1 bp	▲8.7 bp
中国(5年)	1.616%	▲4.7 bp	▲8.4 bp
マレーシア(5年)	3.585%	▲0.9 bp	▲1.4 bp
タイ(5年)	2.062%	▲1.0 bp	▲10.8 bp
インドネシア(5年)	6.780%	+2.3 bp	+0.7 bp
フィリピン(5年)	5.837%	▲0.2 bp	+2.5 bp
インド(5年)	6.633%	▲4.7 bp	▲15.9 bp
ベトナム(5年)	2.070%	+0.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	44,782.00	▲0.3%	+0.1%
N225(日本)	38,513.02	+0.8%	▲0.7%
STOXX50(ユーロ圏)	4,846.73	+0.9%	+1.0%
ASX(オーストラリア)	4,536.91	+0.3%	+0.2%
FTSTI(シンガポール)	3,751.35	+0.3%	+0.5%
SSEC(中国)	3,363.98	+1.1%	+3.1%
SENSEX(インド)	80,248.08	+0.6%	+0.2%
JKSE(インドネシア)	7,046.99	▲0.9%	▲3.7%
KLSE(マレーシア)	1,595.48	+0.1%	▲0.1%
PSE(フィリピン)	6,742.89	+2.0%	▲1.6%
SETI(タイ)	1,437.11	+0.7%	▲0.4%
VNINDEX(ベトナム)	1,251.21	+0.1%	+1.3%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	284.55	▲0.8%	▲1.0%
金	2,639.13	▲0.2%	+0.5%
原油(WTI)	68.10	+0.1%	▲1.2%
銅	8,874.13	▲0.2%	▲0.6%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	148.80	—	151.00
EUR/USD	1.0420	—	1.0650
AUD/USD	0.6435	—	0.6550
USD/SGD	1.3340	—	1.3530
USD/CNY	7.2360	—	7.2990
USD/INR	4.4100	—	4.4730
USD/THB	34.30	—	35.15
USD/IDR	15800	—	15950
USD/PHP	58.55	—	58.95
USD/VND	84.30	—	84.90
USD/VND	24,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は149円台後半でオープン。先週金曜日に植田日銀総裁が「利上げ時期が近い」と発言したことに対応した円買いが一服。日銀の12月利上げを巡って新規材料がない中、円の戻り売り優勢の展開に150円台半ばまで上昇した。ただ、翌日に米JOLTS指標の発表を控えていることもあり、水準を切り上げる展開とはならず150円台半ばで海外時間に渡った。アジア通貨は下落。トランプ米次期大統領がBRICS諸国のUSD離れに対抗し関税を100%課すと警告したことを受けアジア通貨は下落した。

海外時間のドル円は欧州時間に米債利回りが下落する中、150円台前半まで下落し米州時間へ。米州時間午前中に発表された米11月ISM製造業景況指数が予想を上回った他、構成項目の新規受注も予想以上の伸びを見せるも、米金利が下げ幅を拡大する動きが重しとなり、一時149円台前半まで下落。149円台後半まで戻す場面もあったが、ウォラーFRB理事が「12月会合は利下げに傾いている」との発言を受け再度下落し、149円台半ばでクローズ。

【金利】

米債利回りは上昇後、低下。東京時間から欧州時間にかけて金利低下が続いたが、堅調な米指標結果を受け一時金利上昇。しかしながらその後はウォラー理事の発言を受け低下に転じた。

【予想】

本日のドル円は軟調に推移するものと予想。先週金曜日の植田総裁発言を受けた円買いに加え、昨日のウォラー理事発言によりUSD安が進展しやすい環境が継続するものと予想。本日は米JOLTSの発表が予定されているが、指標結果を受けても150円を上げなければ150円台が心理的節目として上値目途となりやすいか。

【本日の予定】

(日本) 11月 マネジャーベース
(日本) 国債入札(10Y)
(アジア) 11月 韓国 CPI
(アジア) 3Q NZ 交易条件指数
(アジア) 3Q 豪 国際収支
(欧州) 10月 仏 財政収支
(欧州) 11月 英 BRC既存店売上高
(欧州) 11月 西 失業者数変化
(欧州) 独 国債入札(2Y)
(米国) 10月 JOLT求人
(米国) 11月 ワズ自動車販売台数合計